

業務・財務等に関する資料

団体名	一般社団法人 日本猟用資材工業会
代表者氏名	会長 伊藤 憲 治
関係省庁局課名	経済産業省 製造産業局 航空機武器宇宙産業課
設立	昭和 50 年 9 月 1 日
住所	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2 丁目 29 番 1 号 NSK 日本橋浜町ビル 6 階
TEL	03-6661-9077
FAX	03-6661-9078
URL	http://www.saama-japan.com
E-mail	mail@saama-japan.com
事業概要	<ol style="list-style-type: none">1. 猟用資材の生産、流通、貿易及び使用消費に関する調査2. 猟用資材の生産に係る企業経営、技術の高度化に関する研究及び指導3. 猟用資材に関する安全基準、構造規格等の作成及び普及の推進4. 猟用資材の安全性の保安確保措置に係る行政施策の実施に対する協力5. 猟用資材に係る安全、保安に関する広報6. 猟用資材を使用するスポーツの振興に関する援助、協力7. 狩猟用鳥類の増殖、野生化等に関する研究、援助、協力8. 国際銃砲検定協会連合等猟用資材に係る海外の機関団体との連絡、提携9. 猟用資材に係る国内の機関・団体との連絡、提携10. その他前条の目的を達成するため必要な事業

目 次

1. 役員名簿
2. 会員名簿
3. 平成 29 年度事業報告
4. 平成 29 年度収支計算書
5. 平成 30 年度事業計画
6. 平成 30 年度収支予算書

一般社団法人 日本猟用資材工業会 会員名簿

平成30年5月29日現在（50音順敬称略）

NO	名 称	住 所
1	株式会社 石井銃砲店	大阪府大阪市中央区上町1丁目9-3
2	株式会社 國友銃砲火薬店	京都市下京区寺町通仏光寺上る中之町580・581番合地
3	株式会社 サイトロンジャパン	東京都新宿区西落合3-9-19
4	株式会社 三進小銃器製作所	東京都荒川区東日暮里5-20-6
5	有限会社 昭貴製作所	栃木県宇都宮市瑞穂3-9-4
6	株式会社 ダイセル	東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル14F
7	ダイセルパイロテクニクス株式会社	群馬県高崎市浜川町760
8	日光社工業株式会社	大阪府大東市新田境町6-14
9	日邦工業株式会社	静岡県裾野市茶畑1838
10	日油株式会社	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー19F
11	株式会社 仁明社	大阪市大正区鶴町5-4-33
12	株式会社 三田商店	岩手県盛岡市中央通1-1-23
13	株式会社 ミロク精機製作所	神奈川県横浜市緑区上山1-4-1
14	株式会社 ミロク製作所	高知県南国市篠原537-1

平成30年5月29日

一般社団法人 日本猟用資材工業会 役員名簿

区 分	職 務	氏 名	所 属 会 社 名	役 職 名
理 事	会 長	伊 藤 憲 治	日邦工業 株式会社	代表取締役社長
理 事	副 会 長	弥 勒 美 彦	株式会社 ミロク製作所	代表取締役社長
理 事	専務理事	早 坂 忠 朗		
理 事		上 村 耕 司	ダイセルパイロテクニクス株式会社	代表取締役社長
理 事		大 田 厚	株式会社 國友銃砲火薬店	銃砲火薬部長
理 事		奥 永 一 郎	株式会社 ダイセル	特機営業課長
監 事		金 澤 修 治	株式会社 三田商店 東京支店	支店長
監 事		中 野 充 士	日 油 株式会社	企画室技術部長

平成 29 年度 事業報告

事業の内容と経過

1. 「武器等製造法」、「火薬類取締法」、「銃砲刀剣類等取締法」、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等の関係法令に係わる省庁の施策、要望事項等に関する協力事業
 - (1) 猟銃等及び装弾の管理の適正化及び流通等における事故防止に関する広報活動
 - ①関係省庁等の保安行政指導に沿って、業界各層に対する啓発を行った。
 - ②広報活動を積極的に展開すると共に、当工業会会員企業の自主保安・安全性の維持向上のため制定されている諸規定の周知徹底を依頼した。
 - (2) 改正法令等の周知徹底、遵守の啓発
2. 自主保安・安全体制の確保、推進に関する事業
 - (1) 全国規模射撃会への技術者の派遣事業
 - ①全国規模で開催される事故防止、銃器故障への応急対処、銃砲スポーツの普及・啓蒙活動及び大会運営協力のため、技術員を派遣した。

72 回国民体育大会
主 催：(公財) 日本体育協会、文部科学省、愛媛県、(一社) 日本クレイ射撃協会
開催日：平成 29 年 9 月 30 日(金)～10 月 3 日(月) 4 日間
会 場：高知県 ミロク射撃場
参加者：47 都道府県、選手 237 人
修 理：修理調整、安全、取扱い相談等を実施した。
 - (2) 会員、官公庁、関連団体からの依頼による猟銃等及び弾薬に関する試験・研究
 - ①(一社) 日本クレイ射撃協会 平成 29 年・30 年公認装弾追加公認申請 1 銘柄 2 弾種の検査を実施した。
3. 環境対策事業
 - ①当工業会単独事業として射撃場に対し排水鉛濃度検査を実施した。

平成 29 年環境対策事業実施結果
射撃場排水の濃度測定：1 回/年、1 検体につき 1 万円
平成 29 年 7 月に 35 射撃場において 35 検体の鉛濃度測定を実施した。
35 射撃場とも排水の鉛濃度基準値を上回る射撃場は無かった。
4. 猟銃廃棄事業
猟銃を廃棄依頼できる工場が不足しているとの情報を得て、猟銃廃棄事業の実績がある会員のミロク精機製作所に依頼し廃棄事業を企画し、銃砲店、関係省庁へ案内をしたが実績は 0 であった。来年度は事業予算を組まず依頼のあった銃砲店、警察署の廃棄の処理を有料で行うこととする。

5. 需要振興に関する事業

(1) 初心者射撃研修会

銃新規保持者(1年未満)及び狩猟が主で射撃練習が十分でない人を対象とした講義と実射を組み合わせた研修会を本年度は7会場で開催した。

参加者のアンケート結果は大変好評であり、さらに充実した研修会内容に発展させ初心者の射撃への積極参加を促しかつ所持の定着を図った。

各会場の開催日・場所及び参加状況は下記の通りである。

開催日時	会場	参加人数
4.08	茨城 友部射撃場	24
5.08	群馬 ぐんまジャイアント射撃場	10
6.08	神奈川 大井射撃場	33
6.08	京都 京北射撃場	48
7.01	大阪 大阪総合射撃場	19
8.06	新潟 巻射撃場	17
9.30	埼玉 百穴射撃場	33
	合計	184

(2) 初心者射撃練習会

初心者射撃研修会のフォローアップコースとして4ラウンド100枚撃ちを実施した。

指導員のアドバイスを受けながらレフリーを体験し、スコアカードを記入体験することによりスムーズな射撃を行えるようになり、初心者の射撃会参加の不安を解消する。

開催日時	会場	参加人数
5.06	茨城 友部射撃場	23
6.24	群馬 ぐんまジャイアント射撃場	19
7.08	新潟 長岡国際射撃場	25
10.21	茨城 友部射撃場	17
11.04	京都 笠取射撃場	18
11.18	神奈川 大井射撃場	28
12.02	群馬 ぐんまジャイアント射撃場	21
12.02	大阪 大阪総合射撃場	19
	合計	170

(3) 各種射撃会等の開催、後援、援助活動

①ジャパンルール普及のため、一般社団法人全日本指定射撃場協会主催の同ルールによる「射撃場対抗射撃会」への協賛援助を行った。

②全日本学生クレイ射撃連盟へ、強化練習の為に装弾(10,000発)の提供援助を行った。

(4) 各種団体への助成、賛助、協賛

- ① 一般社団法人日本クレイ射撃協会への助成金及び強化の支援を実施した。
- ② 一般社団法人全日本指定射撃協会に対し賛助・協賛を実施した。
- ③ 一般社団法人日本火薬銃砲商組合連合会に対し賛助協賛を行った。
- ④ 一般社団法人日本ライフル射撃協会に対し賛助・協賛を実施した。

6. 広報事業活動

「武器等製造法」、「火薬類取締法」、「銃砲刀剣類所持等取締法」、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等、関係法令の改正について会員企業、関係団体等に迅速に情報提供するとともに、遵法精神の高揚等の広報、啓発活動を行った。

7. 加盟団体、協力団体、友好団体との協力事業

以下の諸団体と連携協力し銃砲スポーツの活性化、業界振興策の推進を図った。
特に一般社団法人 大日本猟友会、一般社団法人 全日本指定射撃場協会、一般社団法人 日本火薬銃砲商組合連合会とは関係法令の改正等の情報交換、資料の提供等、連携協力を実施した。

(1) 加盟団体

公益法人 全国火薬類保安協会
一般社団法人 全日本指定射撃場協会
一般社団法人 日本火薬銃砲商組合連合会
一般社団法人 火薬学会

(2) 協力団体

一般社団法人 日本防衛装備工業会
日本火薬工業会

(3) 友好団体

一般社団法人 大日本猟友会
一般社団法人 日本クレイ射撃協会
公益法人 日本ライフル射撃協会
一般社団法人 全日本狩猟倶楽部
日本学生クレイ射撃連盟

平成29年度 収支計算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

収入の部

科目	予算額 (X)	決算額 (Y)	差額 (Y-X)
会費収入	26,640,000	28,796,310	2,156,310
負担金収入	9,484,000	1,034,000	△ 8,450,000
雑収入	95,000	133,467	38,467
当期収入合計 (A)	36,219,000	29,963,777	△ 6,255,223
前期繰越収支差額	5,876,492	5,876,492	0
収入合計 (B)	42,095,492	35,840,269	△ 6,255,223

支出の部

科目	予算額 (X)	決算額 (Y)	差額 (Y-X)
事業費	23,687,000	15,067,194	△ 8,619,806
管理費	16,147,000	14,748,628	△ 1,398,372
当期支出合計 (C)	39,834,000	29,815,822	△ 10,018,178
当期収支差額 (A-C)	△ 3,615,000	147,955	3,762,955
次期繰越収支差額 (B-C)	2,261,492	6,024,447	3,762,955

平成 30 年度 事業計画

1. 事業の概要

- (1) 銃砲、火薬類の保安行政、安全対策に関する事業及び行政施策への協力事業
当工業会の中心事業であり、継続して取り組み自主保安・安全管理体制の維持発展を図り、公共の安全確保と業界振興に資することとする。
- (2) 自主保安・安全体制の確保、推進に関する事業
会員会社及び海外・国内の関係団体から調査情報を入手伝達し、必要に応じて実験検証を行い、保安・安全の推進に資することとする。
- (3) 需要振興に関する事業
 - ① 主催射撃会活動等
需要喚起拡大のため、本年度も昨年同様に初心者の開拓、定着を目的として初心者射撃研修会を 8 会場、初心者射撃練習会を 8 会場で開催する。
 - ② 環境対策事業
射撃場より排出される水質検査の助成を平成 30 年度も引き続き希望する射撃場を対象に実施し環境問題に配慮する。今年度も有料(10,000)で実施する。
 - ③ 猟銃廃棄
事業化は行わないが、要求があれば不要な銃を速やかに廃棄する。(有料)
 - ④ 諸団体との連携協力
スポーツ射撃の普及・振興のために引き続き関係団体へ助成、協賛を行う。
アメリカ・ヨーロッパではトラップ・スキート射撃より盛んなスポーティングクレ射撃を日本に普及するため、関係団体と協力し普及に努める。

2. 銃砲火薬の保安行政、安全対策に関する事業及び行政施策への協力

- (1) 「武器等製造法」、「火薬類取締法」、「銃砲刀剣類等取締法」、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等の関係法令に係わる省庁の施策、要望等に関する協力事業
 - ① 猟銃等及び実包の管理の適正化及び流通等における事故防止に関する広報活動
 - ② 改正法令等の周知徹底、遵守の啓発
 - ③ 関係法令に係わる調査・研究による法令対策、改正要望等の実施

3. 自主保安・安全体制の確保、推進に関する事業

- (1) 諸外国の検定機関、海外諸団体及び海外メーカーからの情報調査
- (2) 第 73 回 福井県開催「国民体育大会」クレ射撃競技への技術者派遣による事故防止と大会運営の円滑化（会場：福井県立射撃場）
- (3) 猟銃等及び実包の安全流通の研究

4. 需要振興に関する事業

- (1) 銃砲スポーツ市場の中長期的安定確保のための事業の策定・立案・実施
- (2) 需要振興のための各種イベント等の立案・実施、TV 番組等への協力
- (3) 新しい射撃競技 (5-Stand, Compac) ・スキート射撃場有効活用の調査・研究
- (4) 「取得の要点」及び「クレ射撃を始めよう」の改訂版を活用し新規銃所持許可取得者の増加を促進する。

- (5) クレー射撃等の普及需要振興策
 - ① 初心者射撃研修会の開催（全国8会場）
 - ② 初心者射撃練習会の開催（全国8会場）
 - ③ スラッグ射撃 初心者研修会の新設開催（2回）
 - ④ インターネット、ホームページ等を利用した銃砲スポーツ広告宣伝
 - ⑤ 銃砲所持希望者のガイダンスセミナーの開催
- (6) 環境事業
 - ① 射撃場に対する排水の鉛濃度測定事業
 - ② 環境問題の啓発活動の推進（非鉛ライフル実包・装弾について）
- (7) 「ジャパンルール」射撃の普及、及び発展に関する協力事業
- (8) 協力団体の主催射撃大会等への助成
 - ① 一般社団法人 日本クレー射撃協会主催射撃大会及び同協会選手強化への助成
 - ② 日本学生クレー射撃連盟の選手強化への援助

5. 会員等に対する広報事業

- ③ 諸事業の遂行状況等の報告、各種統計資料の配布

6. 加盟団体、協力団体、友好団体との連携協力事業

以下の諸団体と連携協力による事故防止・公共の安全確保の保安対策事業及び銃砲スポーツ産業の育成・振興活動を推進する。

(1) 加盟団体

- 公益法人 全国火薬類保安協会
- 一般社団法人 全日本指定射撃場協会
- 一般社団法人 日本火薬銃砲商組合連合会
- 一般社団法人 火薬学会

(2) 協力団体

- 一般社団法人 日本防衛装備工業会
- 日本火薬工業会

(3) 友好団体

- 一般社団法人 大日本猟友会
- 一般社団法人 日本クレー射撃協会
- 公益法人 日本ライフル射撃協会
- 一般社団法人 全日本狩猟倶楽部
- 日本学生クレー射撃連盟

平成30年度 収支予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

収入の部

科目	予算額 (X)	前年度予算額 (Y)	増減 (X-Y)
会費収入	27,340,000	26,640,000	700,000
負担金収入	3,650,000	9,484,000	△ 5,834,000
雑収入	91,000	95,000	△ 4,000
当期収入合計 (A)	31,081,000	36,219,000	△ 5,138,000
前期繰越収支差額	6,024,447	5,876,492	147,955
収入合計 (B)	37,105,447	42,095,492	△ 4,990,045

支出の部

科目	予算額 (X)	前年度予算額 (Y)	増減 (X-Y)
事業費	16,438,000	23,687,000	△ 7,249,000
管理費	14,562,000	16,147,000	△ 1,585,000
当期支出合計 (C)	31,000,000	39,834,000	△ 8,834,000
当期収支差額 (A-C)	81,000	△ 3,615,000	3,696,000
次期繰越収支差額 (B-C)	6,105,447	2,261,492	3,843,955